

# なごみ

nagomi



JA愛知厚生連

江南厚生病院

Vol. 32

2016.1

INDEX

コラム

## ① 新年のごあいさつ

② 腎臓の働きが落ちていると言われたら

③ ICT (感染対策チーム) について

トピックス

食育ワークショップを終えて  
地域福祉職向け研修会の開催

イベント紹介  
院内コンサート

お知らせ

救命救急センター指定について

災害訓練

がんサロン「にじの会」のご案内

院内での写真撮影等についてお願い

保険証の確認について

面会時間のご案内

診療日カレンダー

病院理念

- ー. 私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- ー. 私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- ー. 私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します

# 新年のごあいさつ



江南厚生病院 院長

齊藤 二三夫

新年あけましておめでとうございます。私は、昨年4月に江南厚生病院の院長に就任し、初めての新年を迎えることができました。当院は開院して7年が経過し、その間、この地域の期待に応えるべく機能を充実させてまいりました。この場を借りて、最近の当院の取り組みから3点を紹介させていただきます。

## 救命救急センター・地域中核災害拠点病院の指定

平成20年5月の開院以来行ってきた救急診療実績に加えて、救急専門医の常勤化と救急医療体制の充実により、平成27年10月1日付で愛知県知事より救命救急センターの指定を受け、同時に地域災害拠点病院に代わり、地域中核災害拠点病院に新たに指定されました。これもひとえに皆様方の御支援によるものと感謝を申し上げます。今後も当院の診療機能の充実に努めていきます。

## 医療安全活動

昨年10月1日より医療事故再発防止目的で医療事故調査制度が施行されました。当院では旧昭和病院時の平成12年から医療安全委員会を立ち上げて医療安全活動を継続しています。最近では年間4~5,000件のインシデント・アクシデント報告があり、患者さんが安心して安全な医療を受けられる環境を整えることを目的に毎週の医療安全対策会議にて、その内容と対策を検討して速やかに全職員に周知徹底させる医療安全活動を行っています。また病院業務のリスク低減と作業効率向上の目的で、3年前より5S運動（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）を開始し、院内の作業環境は著しく改善しています。今後も安全確実な医療を行うために医療安全活動を継続していきます。

## 地域医療構想と地域包括ケア

団塊の世代700万人が後期高齢者となる2025年には65才以上の高齢者が3700万人とカナダ一国の人口を上回る数になります。年間死亡者は160万人と推定され全ての患者さんが病院で死亡することは困難な状況になります。国は病院完結型医療から地域完結型医療への政策転換を図る方針です。これを行うために「地域医療構想」と「地域包括ケア」が導入されます。地域医療構想は、国が地域における医療設備、実際に行われている診療内容・診療資源、地域の人口動向から医療・介護の需要を把握することで、地域の医療機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）の将来の必要量を推計し、その地域にふさわしい医療機能の分化と連携を適切に推進することを目的としています。地域包括ケアは、概ね30分以内の生活圏内で患者さんの退院後の医療、介護、生活支援、予防および安心できる住まいの提供を行うことです。二つの政策により医療から介護中心へ、施設から居宅中心へ住み慣れた地域内で切れ目のない医療を行うとしています。当院は、尾張北部医療圏の医療ニーズに対応するために、地元行政、近隣の病院、医師会および診療所、療養施設、在宅医療サポートセンター等と協力し、知恵を出し合い、互いに足りないところを補いながらこの地域にとって望ましい医療提供体制を築きあげていきたいと思っております。

最後になりますが皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

## 腎臓の働きが落ちていると言われたら



薬剤部  
内山 耕作

腎臓は背中の下あたりにあるこぶし大のふたつの臓器です。重さは片方で150g程度と両方合わせても体重の数%に過ぎないこの臓器が、全身を巡る血液の老廃物を掃除します。くすりの中には腎臓を通して尿中に出ていくものも多いのですが、それらは腎臓の働きが落ちると容易に体内に蓄積する場合があります。くすりが蓄積することで有効性が上がって良かった…とはならず、副作用が増えてしまうことが問題となります。腎臓の働きが落ちる理由としては、もともとの病気によるもの、別の病気によって引き起こされるもの、それら治療によって使われたくすりの影響によって引き起こされるもの、加齢によるものなど様々です。いずれかの原因で腎臓の働きが鈍ってきた場合には、くすりの蓄積を回避するため投与量を調節します。腎臓の働きが落ちていると医師などから説明を受けた場合には、医師や薬剤師へお気軽にご相談してください。

## ICT (感染対策チーム) について

ICTとはInfection Control Team (インフェクションコントロールチーム) の略で、医療施設において感染対策を担当する専門職によるチームのことです。

江南厚生病院ICTは、医師、薬剤師、臨床検査技師、看護師で構成され、患者さんやご家族、面会者、医療従事者を感染から守ることを目標に、院内の感染対策パトロールや職員対象の勉強会、感染対策ポスターの掲示など、院内における感染対策の啓発活動を行っています。

感染対策はICTだけでなく患者さんやご家族、面会者のみなさんひとりひとりの実践も必要となります。冬季は、インフルエンザや感染性胃腸炎が流行しやすい時期となっています。手を介した感染を防ぐために「消毒剤を使った手の消毒方法」、まわりへの感染拡大を防ぐために「咳エチケット啓発ポスター」を参考に実践してください。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



## 食育ワークショップを終えて

10月3日(土)名鉄犬山ホテルにおいて愛知県厚生連主催の「第4回食育を考えるワークショップ・江南」(事務局・江南厚生病院栄養科)が開催され、厚生連職員、江南保健所管内栄養士および地域住民約140名が参加しました。



本ワークショップは、国が地域の食育活動支援のために設けた「地域食育推進事業補助金」を申請し、愛知県の承認を受け実施したものです。

第1部の「地域における食物アレルギー児に対する取り組み」では、当院の食物アレルギー患児に対するリスクマネジメントについて発表を行い、その他に江南市立古知野西保育園及び犬山市小中学校における食物アレルギーを持つ園児・児童生徒への対応について報告がありました。第2部の特別講演では、あいち小児保健医療総合センター・副センター長兼総合診療科部長の伊藤浩明先生に「食物アレルギーの診断と社会的対応の最前線」と題してご講演いただきました。食物アレルギーに関する医療と社会の進歩について、診断方法や食事管理、社会の対応、セーフティネットの状況など具体的にお話しいただきました。以前の食物アレルギー患児に対するアレルギー完全除去の対応から、現在は食べながら治療するアレルギー解除に向けた積極的な対応が推奨されている事を学び、食物アレルギーについて理解を深める良い機会となりました。

## 地域福祉職向け研修会が開催されました

9月8日に当院講堂にて摂食嚥下地域連携研修会が開催され、65名の方が参加されました。



歯科医師、歯科衛生士による講義では、口腔ケアの位置づけやポイントについてお話ししました。また、オブラートを使用し口腔内に痰が付着している状態や、保湿剤とスポンジで実際に口腔ケアを体験するなどの実技も行われ、参加者の方々は積極的に声を掛け合い学ばれていました。今後も定期的に研修会を実施していく予定です。

### イベント紹介

## 院内コンサート Concert

9月16日  
(水)

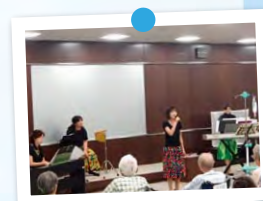
ママバンド「LINKS」によるコンサートが開催されました。優しい歌声・フルートの音色に感動し、中には涙を流す方もいるほどでした。なじみの曲も織り交ぜ、楽しく感動的な時間を過ごす事が出来ました。

10月29日  
(木)

「織音(おりおん)」によるはっぴーコンサート。ドレミの歌では、歌詞に合わせた振り付けを教えてもらい、みなさん頑張ってチャレンジしていました。さらに今回は『楽器当てクイズ』もあり、その正解者にはバルーンアートの果物がプレゼントされていました。和太鼓の迫力ある音もとても印象的でした。

11月25日  
(水)

「ポロンポロン扶桑」によるクラシックギターコンサートが開催されました。大人数で奏でるギターは、癒しの音色となり、参加された方の心に優しく響き渡っていました。笑顔と優しさのあふれるコンサートでした。

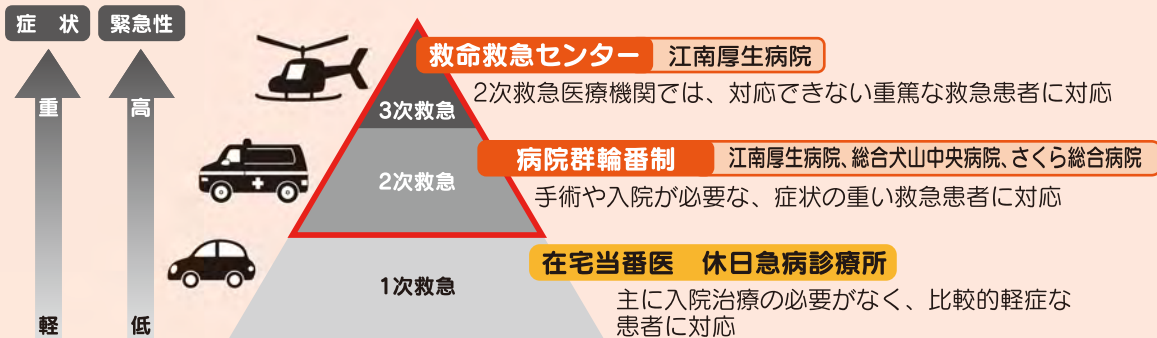




# 救命救急センター指定について

江南厚生病院は、愛知県より平成27年10月1日付けで救命救急センターに指定されました。救命救急センターとは、心筋梗塞・脳卒中・頭部損傷等の重篤な救急患者に24時間体制で高度な救急医療を提供する第3次救急医療機関です。

今後は、従来からの2次救急(輪番制)に加え、3次救急の役割を担い、主に入院治療等が必要な重症患者や重篤患者の対応を行ってまいります。



## 救命救急センターを受診される患者さんへ

当院の救急患者数は、年間約30,000人、救急車は6,000台以上と毎年増加してきており、中でも軽症の方が直接受診されるケースが増加してきています。重症、重篤患者さんの対応に支障が出るほか、救急担当医をはじめスタッフに大きな負担となりますので、かぜなど**比較的軽症な方は、まずはかかりつけ医や在宅当番医、休日急病診療所などの1次救急をご利用いただき**、適切な受診へのご協力をお願いいたします。

困ったときは！

休日や夜間に受診できる医療機関を症状に合わせて案内しています

救急医療情報センター 0586-72-1133

救急医療情報システム <http://www.qq.pref.aichi.jp/>

こどもの急病時、医療機関に受診するか迷ったら・・・

小児救急電話相談 052-962-9900 (#8000)

こどもの救急 <http://kodomo-qq.jp/>

## 災害訓練を実施しました

平成27年度江南厚生病院災害拠点病院災害訓練を11月7日(土)江南市消防本部はじめ尾北地区4消防機関ならびに江南市、尾北医師会、江南警察署、江南消防団、関係企業の協力のもと総勢450名で行いました。

訓練は、静岡県西部で巨大地震が発生し尾北地区においても多数の負傷者が発生した想定で、来院した患者のトリアージ(患者治療別優先度振り分け)、応急救護活動訓練を行いました。それに並行して消防機関による多重交通事故救出訓練、病院搬送訓練も行いました。

また、今年度より新たな試みとして地震によりエレベーターが使用できない状況下での上層階への患者搬送、実際の処置・検査を想定した所要時間の設定、停電時を想定した照明の消灯を行いました。

最後に当院は10月より救命救急センターに指定されたことで、災害拠点病院についてもより大きな役割が求められるようになりました。その役割を果たすため、今後も地元行政および関係機関と連携し1人でも多くの命を救うことができるよう災害対策に取り組んでいきます。



訓練風景



上層階患者搬送風景

仲間やがんに詳しいスタッフと不安や悩みを語り合いませんか？

## 平成27年度 がんサロン「にじの会」のご案内

がんを患っている患者さんやそのご家族は、ほかの人にはなかなか話せない様々な不安や悩みを抱えながら生活されていると思います。「にじの会」では、同じ体験をしている仲間とお互いの悩みや不安、または生活の工夫などをお茶やお菓子を食べながら和気あいあいと語り合い、がんと共に自分らしく生きる明日への活力を得ることができるようお手伝いをさせていただきたいと考えています。

ご興味がある方はお気軽にご参加ください。詳細は以下のとおりです。

●対象 **がんを患っている患者さん  
あるいは、そのご家族**

●日時 **(※変更になることがあります)**

●場所 **外来2階 多目的室  
※外来用エレベーター前**

●参加方法 **自由参加**

日時(予定)	テーマ(仮)	担当
1/19(火)	元気になるメイクアップの方法	がん性疼痛看護認定看護師
2/20(土)、3/15(火)	治療と仕事の両立のために	ソーシャルワーカー

10:00~10:30 プチ講座 (2か月毎に内容を変更します)

10:30~12:00 参加者同士の交流会

<問い合わせ先> がん相談支援センター TEL (0587) 51-3346 FAX (0587) 51-3317  
E-メール: gansodan@konan.jaaikosei.or.jp

参加費  
無料

## 院内での写真撮影等についてお願い

当院では、患者さんやスタッフのプライバシー、個人情報等の保護のため、院内での写真撮影、動画撮影、録音等は、原則として禁止させていただいております。



撮影禁止

※撮影等を希望される場合は、事前にスタッフまでお申し出ください。なお、その場合でもプライバシーに配慮いただき、インターネット、メール、SNS (Facebook・Twitter・LINE・mixi等) への掲載はご遠慮ください。



### ●保険証の確認について

当院では毎月一度保険証の確認を行っています。外来受診の際は各外来受付か新患受付へ、入院中の方はスタッフステーションに保険証をご提示ください。なお、氏名、住所、電話番号等の変更があった場合もご提示をお願いいたします。

### ●面会時間のご案内

平	日	土・日曜日・祝日
15:00~20:00		13:00~20:00

※多人数室の面会は、同室の患者さんの迷惑にならないように談話コーナーなどをご利用ください。

※患者さんの安静は治療上大切です。容体によっては面会をお断りする場合があります。

## 2016年(平成28年) 診療日カレンダー

■ 休診日(第2・4・5土曜日は休診です) ■ 午後休診

1月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29					

3月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

発行日/平成28年1月1日

発行/JA愛知厚生連 江南厚生病院 広報委員会

〒483-8704 愛知県江南市高屋町大松原137番地 TEL (0587) 51-3333 FAX (0587) 51-3300